

シーン4 ドラッグストアの会計にて

それでは次の動画に参りましょう。

次は、薬局や薬店でのレジ前でのシーンです。

後ほどまたご一緒に『もっとぱっとスピード問診票』にチェックを入れてみましょう。

それではご覧ください。

レジでの一場面

シーン4 ドラッグストアの会計にて

このシーンも、なんだかすごくオカシイですね。
スーパーやコンビニの会計でもあり得るシーン
です。

- ・ 明らかな記憶障害があります
- ・ 怒りっぽい（易怒性）印象です
- ・ お財布パンパンで金銭管理ができない様子です

それでは『もっとぱっとスピード問診票』に
チェックを入れてみましょう

シーン4

ドラッグストア会計の答え合わせ

私はここにチェック
を入れました

1 - 8

2 - 4、

2 - 6、

2 - 10

3 - 4、

3 - 8 も ?

人・物の名前がすぐ出ない
「あれあれ、それぞれ」

日付・曜日を何度も
確認する

何しに来たのか忘れる
どこに置いたか忘れる

薬の飲み忘れが多い
火・電気の消し忘れ

親しい家族や友人の
名前が出ない

約束した時間や場所
を間違える

一度に二つのことは
覚えられない

同じことを何度も言う
また同じ物を買ってきた

今いる場所がもう分か
らないと言う

家族や親しい人の顔
すらも分からない
あなた誰だっけ？

TVの内容が分から
なくなったと言う

話しのつじつまが
合わない

趣味や慣れた習慣が
出来なくなる

お金を使った
買い物が出来ない

一人でバスや電車に
乗るのが難しい

料理・洗濯がダメ
薬・お金の管理がダメ

リモコンや携帯や
つめ切りが使えない

だまされやすい！
オレオレ詐欺や押し売り

服を間違えて着る
ちゃんと切れてない

いつもの慣れた道で迷う

今まで好きだったこと
なのに無関心になる

気がめいる・不安がる
夜が眠れないと言う

被害者意識が強い
物を盗られた！と言う

すぐ怒る・落ち着かない
独り言を言う

幻聴・幻視が出る
と言い出した

何日も風呂に入らない
ゴミを捨てない

家の中でも外でも
やたらウロウロする

異常なコダワリがある
同じ事を何度もする

昼ウトウトしてて
夜は起きてる

よく転ぶ・歩き方がヘン
なんかボーっとしてる

もうお分かりですね？

認知症だとすれば、『もっとぱっとスピード問診票』の中段と右段にチェックが入りますから、かなり進行した認知症です。少なくとも中度以上、あるいは行動心理症状も併発しています。

ですから「へんな人！」で済ませてはいけません。ではどうしたらよいのか？

とにかくあなたは「なんとか地域包括支援センターにつながなくては！」と思わなくてはならない！

シーン4 ドラッグストア会計の具体的対応策

- とにかくまず『もっとぱっとスピード問診票』に記録しましょう
- 来店時間を記録しておきましょう。決まって同じ時間に来店している可能性があります。
- お財布の中に、本人のヒントは何かありませんか？
苗字（姓）が分かる診察券やカードは見えますか？
- 世間話で「どちらからお越しですか？お近くにお住まいですか？」と“作り笑顔”で尋ねてみましょう。
- 「お元気ですね！とってもお若く見えますが、おいくつですか？」と“作り笑顔”で尋ねてみましょう。

シーン4 ドラッグストア会計その対策

- 一つでもその人を特定できそうなヒントをつかめたら『もっとぱっと』スピード問診票を添えて、地域包括支援センターに連絡してください。
- 高齢者であれば、住んでいる地域と苗字だけで、たいていはどこの誰だか判明できます。
- その時、あなたは「なんかヘンな人が来て…」ではダメです。必ず『もっとぱっとスピード問診票』を記入し「こんなお客です」と客観的に伝えましょう。
- 同じ時間に決まって来店する場合は、包括の職員がその時間に“張り込み”をすることもあります。

地域包括支援センターの実力

< 地域包括支援センターの優れた調査能力の実例 >

畑医院の前を、毎日同じ時間に通過する高齢の女性がいます。「全身ピンク色のいでたち」で、髪の毛はぐしゃぐしゃ、いつも独り言を言っています。

雨の日も風の日も、夏も冬も、同じピンクの日傘をさし、同じピンクの帽子をかぶり、同じピンクのコートを着ています。そして、車輪の外れかけた買い物カートをひいて歩いています。しばしば畑医院の前で立ち止まります。ある日私が声をかけましたら、財布の中をじっと見ていました。

このスライドは主催者都合により
非公開です。

Á

Á